

# 伊丹ルーテル教会 昇天主日礼拝

## 2020年5月24日

父と、御子と、聖霊の御名により、**アーメン**。

前奏：「愛するイエスよ、われらはここに」

### 招きのことば：使徒1：11、詩編47：2

「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」  
すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。

### 罪の悔い改めと赦しのことば

**会衆**：私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。  
私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

**牧師**：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。  
ですから神様の御言葉をとりつく務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン**。

### 使徒信条

**われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。**

**われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。**

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、  
陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、  
父なる全能の神の右に座したまえり。  
生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 **アーメン**。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

御子イエス様によって私たちの罪を赦して、洗礼によってあなたの子どもとしてくださり、復活のいのちに生きていくことができるようにすべてを導いてくださることを感謝いたします。生きづらさを感じるこの世にあって、イエス様は今も父なる神様の右の座にお座りくださって、主として私たちをみ言葉によって導いてくださり、よい実を結ばせてくださいます。今朝も復活の主を信じる信仰で満たしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大はある程度抑えられてきました。まだ二次感染や、これからの生活について不安です。私たちを助けてください。長期にわたって病気の発見や治療にあたってくださっている方々、日々の生活に必要なものを整える働きについておられる方々の疲れを癒やし、お支えください。家庭生活、学校の生活、お仕事において私たちを導いてください。

イースターの日から始まり、今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。この礼拝ができるようにかげにあって力になってくださった方々を祝福してください。私たちは復活の主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

この祈りを私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

**アーメン。**

## 使徒書朗読：エペソ 1：15-23

こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

## 福音書朗読：ルカ 24:44-53

イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あ

なたがたはこれらのことの証人となる。わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

### **説教「心の目を開いて」**

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

先週の日曜日の礼拝で、イエス様が昇天されたことをお話ししました。イエス様は十字架にかけられて死んでくださり、そして三日目によみがえってくださいました。そのあと40日間、弟子たちにあらわれ、励ましてくださったあと、聖霊を待ちなさい、と命じられて天にあげられました。今週はイエス様の約束された聖霊を待っている一週間です。そして来週は聖霊降臨のあったペンテコステの日曜日です。よみがえられたイエス様が天地の一切の権威を与えられ、神の右の座に着座されて、いよいよ私たちのために新しい時代を始められます。今朝もよみがえられたイエス様が私たちひとりひとりをかえりみていてくださることを覚えましょう。復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

イエス様はよみがえられて弟子たちに現れてくださったとき、わたしについて聖書に書いていることはすべて実現すると言っておいたであろう、と言われ、聖書を悟ることができるように弟子たちの心の目を開いてくださいました。今もイエス様は、礼拝でみ言葉を聞く私たちに心の目を開いてくださいます。聖書を読んでも難しくても心に入っていないように思うことのある私たちが、一人で読んでいても理解にむらのある聖書を悟ることができるようにイエス様がしてください。

聖書を悟るとはどういうことでしょうか。それは聖書の中心メッセージを悟ることです。イエス様は続いて言われました。救い主のイエス様は苦しみを受けます。私たちの罪を赦すためです。三日目によみがえってくださいました。罪と悪魔と死の力を滅ぼすためです。私たち皆が、自分の罪を悔い改めて、その罪が赦され、永遠の命を受けるように、聖書のメッセージはあらゆる国の人々に宣べ伝えられます。

今朝も私たちは、「罪の悔い改めと赦しの宣言」で自分の罪を悔い改めて、イエス様の赦しの宣言を受けました。今週もみ言葉に支えられて、輝く命を生きていきます。私たちは今週もこうして礼拝にあずかっています。礼拝は毎週もたれます。そこでいつもみ言葉の説教を聞きます。心の目を開かれて、聖書を悟らせていただきます。

歴史的に日曜日によみがえられたイエス様を覚えて毎週日曜日に礼拝がもたれています。そして礼拝では一年を通じてイエス様のご生涯とイエス様の教えられたことをたどります。信仰告白の使徒信条には父、御子、聖霊の3つの部分がありますが、一年の礼拝にも、父なる神様が約束を成就して御子を世にお与えになったクリスマス、そして御子イエス様がよみがえられたイースター、さらにみ父と御子から遣わされて使徒たちに聖霊が降臨したペンテコステの3つのお祝いをします。

さて、使徒たちは、父から約束された聖霊が与えられるまで、すなわち高いところからの力に覆われるまで都であるエルサレムにとどまっていなさい、と言われました。力が与えられたら、エルサレムから始めてイエス様によって罪の赦しが与えられるということの人々に証言するようになります、と言われたのです。

私たちは毎日の生活を、自分の知恵や自分の勘をたよりに送っていきます。それでいいでしょうか。何とか人としては生きてきても、神様の前では罪びとで、神様から遠く離れ、神様に帰る道もわからなくなってしまう私たちに対して、父と子と聖霊の、ひとりのまことの神様が、私たちを見捨てないで、むしろどんなにすばらしいことをしてくださったかを礼拝のたびに思い起こさせていただけます。み言葉の約束の通り、私たちは洗礼を通して与えられた聖霊により頼んで、まずそこにとどまることです。罪びとである自分が、父なる神様のあふれるばかりの愛によって、恵み深いイエス様のみわざを通して罪が赦されているということを聖霊は私たちに信じさせてくださいます。

聖書の光に照らされていくと自分自身の心は自己中心で、ひとりよがり、自分を受け入れられない人を妬み、恨み、遠ざけます。そんな私があるまま生きていってはいけぬ、とわかってくださっているイエス様は、その罪を私にかかわって担ってくださって、罪の裁きを受けてくださり、さらによみがえって罪の力を打ち砕いてくださいました。イエス様のお名前によって生きていくとき、神様に感謝し、人々を愛し、うまれながらの自分の心ではなく、神様からいただく力と愛と慎みによって生きていくのです。

あなたも今日、悔い改めてイエス様を信じ、この力にあずかりました。そして、復活のイエス様のいのちにあふれて、出会う方々、触れ合う方々に、イエス様のすばらしさをお分かちする新しい心が与えられています。

ルカの福音書 24 章 50 節からあとを見ると、イエス様は使徒たちを祝福された、と書いていますね。手を挙げて祝福された、ということです。昇天のとき、イエス様は祝福してくださいました。イエス様は、問題だらけの弟子たちを受け入れ、認め、愛して、これからの歩みを祝福してくださいました。手、と日本語でかいてありますが、両手です。これから始まるあなたの一週間をイエス様は両手をあげて祝福してくださいます。弟子たちは喜ばなかったはずはありません。天に昇って行かれるイエス様を見送りながら、彼らはイエス様を伏し拝みました。そして大喜びでエルサレムに帰りました。約束の聖霊が与えられるまで、都にとどまるようにいわれていたからです。その間、絶えず神様を礼拝する神殿にいて、神様をほめたたえていた、と記されています。

神様はあなたを祝福してくださいます。イエス様はマタイの福音書の方では「見よ、わたしは世のおわりまでいつもあなたがたとともにいます」と約束してくださいます。神様はあなたが、礼拝でイエス様のみ言葉を聞き、イエス様のからだと血である聖餐にあずかり、心の目を開かれて、罪が赦されていること、新しいのちに生きることをいつもあなたに信じることができるようにしてくださいます。昇天されて肉眼では見えなくなったイエス様を、いつも身近にいてくださる主として、救い主としてあがめ、感謝し賛美した弟子たちのように、私たちも礼拝にあずかるときに力をいただきます。そして神様を賛美しながら、エルサレムから始めてあらゆる国の人々に罪の赦しを得させる悔い改めが宣べ伝えられることを喜びます。

あなたはいかがでしょうか。これから始まる一週間も、家庭生活の中で、自分が親として、子として、兄弟として、置かれている使命を、恐れなく、進んで喜んで心を込めて果たしていきましょう。エルサレムから始めて、とイエス様は言われました。エルサレムはお弟子たちにとって、主イエス様が苦しみを受け、十字架につけられて殺されたところです。復活のイエス様が出会ってくださいるまでは、扉をしめ切って、自分たちの上に災いが及ばないように恐れていたところです。けれども、イエス様は自分を殺した人々をも愛しておられ、その罪の赦しのメッセージを弟子たちに託されました。近隣やお友達、職場や学校で出会う方々にはみんなの嫌うようないやな仕事であっても進んで引き受けて、みんなに仕え、役に立っていきましょう。教会でであったかけがえのないお互いのために覚えて祈り合い、自分の使命を喜んで果たしましょう。よみがえって、天に昇られた主イエス様は、あなたをきよめ、あなたを強め、永遠のいのちへといたらせてくださいます。

お祈りいたしましょう。

愛と恵みに満ちておられる父なる神様、イエス様は弟子たちから離れ、天に昇られました。それは弟子たちに聖霊の力を与え、弟子たちを強めて用い、罪の赦しを得させる悔い改めのメッセージがあらゆる国の人々に宣べ伝えられるためでした。弟子たちは祝福を受けて、イエス様をひれ伏して拝み、いつも賛美して神様をほめたたえていました。私たちにも同じ喜びと信頼と使命を

与えてくださって感謝いたします。この一週間も主イエス様が罪深い私を赦し、きよめ、強めて、与えられたところでゆたかな喜びをもって神様と人々にお仕えできるように導いてください。主であり救い主であるイエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをまもってくださいます。アーメン。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

### **讃美歌 280 番**

1. わが身のものぞみは ただ主にかかれり、主イエスの外には よるべきかたなし。  
　　<繰り返し> わがきみイエスこそ すくい岩なれ、すくい岩なれ。
2. 風いとはげしく なみ立つ闇夜も、みもとにいかりを おろして安らわん。 **繰り返し**
3. この世のものぞみの 消えゆくときにも、こころはうごかし、みちかいたのめば。 **繰り返し**
4. 見ぬ世にうつりて まみゆるそのとき、主の義をまといて みまえに立たまし。 **繰り返し**  
　　**アーメン**

### **主の祈り**

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

### **頌栄の讃美歌 541 番**

父、御子、みたまの大御神に、ときわにたえせず み栄えあれ、み栄えあれ。アーメン。

### **祝福のことば**

仰ぎこい願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。 **アーメン**。